

あこう



市議会だより

第164号



令和4年8月10日発行



TEAM 1						
赤	穂					
橋	原					
TN	1	2	3	4	5	6
橋	5	6	1	2	3	9
加小三小石宮						
原藤松石川元本						

2P

・6月定例会のあらまし・一般質問

3~5P

・一般質問

6~7P

・議案の議決結果・議員別賛否一覧・報告案件

・常任委員会等審査から

・常任委員会行政視察報告 など

8P

・議会活動状況・9月定例会・常任委員会の目録(案)

・令和4年5月10日号の訂正について・編集後記 など

市政の課題 将来の展望を



ただ 質す

6月23日(7名)、24日(4名)の計11名が登壇し、市政の課題や将来展望に対する考え方について一般質問を行いました。

使用されていない 公共施設について

釣 昭彦 議員



問 令和4年3月に改訂された赤穂市公共施設等管理計画はコスト削減や経費の削減で公共施設の見直しをする計画だが、使用されていない公共施設の旧つつじ荘(赤穂市養護老人ホーム)や旧上下水道部庁舎は、令和4年度以降に解体撤去を表明しているが、今後の利用方法や運用はどう考えるのか伺う。

その他の質問事項

- 市道、県道、国道沿いの道路側溝と植樹帯について
- 市民病院の経営について

医療事故報道から見る赤穂市の 危機管理体制について

田 淵 和 彦 議員



問 繰り返す医療事故報道は市民病院運営や赤穂市のイメージにプラスになっていない。マスメディア対応に問題がなかったか。また原因は一連の事故が発生した当時の病院長や市出向の幹部職員のコンプライアンス意識の欠如にある。幹部職員の早期対応で状況は変わっていた。そのことは市として内部検証してきたのか。

その他の質問事項

- 市民病院の小児医療及び周産期医療の継続について
- 長谷川右岸の土砂崩落現場の安全確認について
- 新学校給食センターの大規模災害時の役割と建設用地選定について

定例会のあらまし

令和4年6月(第2回)定例会を、6月10日から24日までの18日間にわたり開催しました。

この定例会において、報告案件、一般会計補正予算、事件決議等の議案が提案され、全ての議案について、承認、可決しました。

また、請願と意見書それぞれ1件の審議を行い、どちらも全会一致で採択、可決となりました。

※QRコードより、議員ごとに一般質問の様子を動画にて閲覧できます。

答 現在閉鎖している旧つつじ荘は草刈り等の維持管理を市が行っている状況である。施設利用に関しては、これまで公募等は行っておらず、今後の活用については、事業者から借り受けたい等の申し出があれば協議していきたい。旧上下水道部庁舎については、令和3年度にアスベスト調査を実施し、本年度は解体・撤去のための実施設計を行う予定である。また、跡地利用については、市民サービスの向上につながる有効な活用方法について検討していく。



旧上下水道部庁舎



答 脳神経外科において発生した医療事故に遭われた患者様やそのご家族には大変申し訳なく思っている。また、市民や関係者に多大なるご心配をおかけしているところである。報道に対しては、その都度適切に対応してきたと考えるが、係争中のため答えられず、十分な対応が出来ない面があったと考えている。今後は可能な限り丁寧に説明を行い、市民病院の信頼回復に努めていく。事故が発生した際の対応として医療安全対策実施要項を改訂し、院内に周知したところであり、今後ルールの徹底に努めていく。



トップアスリート人材の活用について

安田 哲 議員



問 国が進める中学校の運動部活動改革では、休日部活動の地域移行など地域における新たなスポーツ環境の整備が必要となっている。そこで赤穂市出身や市内在住のトップアスリート並びに実績を有する指導者の活用を進めていくための登録制度「赤穂市トップアスリートバンク」を創設することはできないか。

その他の質問事項

- 消防団の充実強化について

答 トップアスリートや競技指導者の人材登録、派遣制度については、県スポーツ協会の事業で取り組みを始めているため、市独自で制度を創設することは考えていない。現在、東備西播定住自立圏形成推進事業の「トップアスリート招聘事業」による市民や子どもたちの競技力の向上に向けた取り組みのほか、市民総合体育館等の指定管理者による様々な種目のトップアスリートを招聘したスポーツ教室等を開催しているところであり、これらの事業に本市ゆかりの人材を積極的に活用できるよう検討、調整していく。



重症心身障がい児(者)支援の提供体制について

中谷 行夫 議員



問 重症心身障がい児は、特別支援学校を卒業後、市内で通所できる生活介護事業所が1か所のみで、医療的行為の伴う重症心身障がい児(者)の利用には制限がある。また、短期入所できる施設がない。市が補助し、市内の老人介護施設等を利用し、共生型サービスに移行するほか、市民病院の病床の一部を利用し、ご家族の介護負担を支援できないか。

その他の質問事項

- 市民活動団体への支援について
- 福祉現場で働く人材の確保について

答 障がい福祉サービスを提供する事業所や市民病院等に対する重症心身障がい児(者)の受入等を要望した結果、生活介護事業所はくほうより、看護師の増員、利用時間の延長等の協力をいただいた。また、新規開設事業者に対し、生活介護サービスの提供施設の不足を情報提供し、検討をお願いしている。医療的行為の伴う重症心身障がい児(者)が利用可能な施設の整備は現時点では困難であるが、市民病院の一部利用や共生型サービス利用について調査研究する。



アフタースクールの支援体制・連携の在り方について

荒木 友貴 議員



問 支援員及び補助員の資格研修の状況・課題と、人材確保の取組みはどうか。子どもの預かり環境向上という点では、実施主体がどこかは関係がない。アフタースクール及び関係所管等において使用施設の調整、不具合箇所や子どもに関する相互の情報共有等、連絡体制並びに運営の改善がさらに必要だと考えるがどうか。

その他の質問事項

- 赤穂市における女性参画の促進に向けた実効的な取組みについて
- 赤穂市観光・移住定住戦略に基づく資源・受け皿の磨き上げと瀬戸内海国立公園の利活用・拠点整備に向けた地域連携について

答 令和3年度の放課後児童支援員研修の修了者は4人であり、引き続き支援員・補助員に関わらず受講を推進するとともに、資質向上研修等にも積極的な受講を促していく。補助員等の確保については広報紙等での募集や人材の情報収集に努め、支援員の負担軽減に向け調整を図る。学校施設の利用については学校と協議を行い、各地区アフタースクールの状況に応じ対応している。今後もアフタースクール代表者会議等で情報共有を図り、必要に応じて関係部署と協議を行い、関係所管課が連携を図りつつ、児童が安全に過ごせる環境整備に努めていく。



尾崎アフタースクール



御崎から坂越までの観光道路の 樹木剪定や雑草対策について

前川 弘文 議員



問 観光道路は、昭和34年の開通以降、瀬戸内海国立公園の美しい海岸線の御崎を訪れる観光客を迎え入れてきた。現況は、観光地なのに樹木や雑草が茂り、景観が悪化し、瀬戸内海の眺望も阻害されている。御崎から坂越までの観光道路から海が眺望できるように、道路脇の樹木剪定や雑草対策を実施すべきではないか。

その他の質問事項

- ナッジ理論で伸ばす健康寿命について
- すべての人に分かりやすく記入しやすい申請書類等について 外

給食材料費の値上がりと 給食無償化の検討について

深町 直也 議員



問 今議会には、給食の食材費高騰に対して補填する予算が提案されており、このことについては評価するが、コロナ禍が長引く中で子育て家庭への支援が必要となってきており、全国的に給食無償化を行う自治体が増えてきている今、赤穂市として給食無償化を検討する考えはないか伺う。

その他の質問事項

- 福浦・西有年産廃計画について
- 赤穂市民病院の現状について 外

認知症になっても安心して 暮らせるまちづくりについて

南條 千鶴子 議員



問 認知症は誰もがなりうるものであり、家族や身近な人がなる事を含め、市民にとっても高い関心事である。「認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる、地域共生社会実現」を目指し、認知症の理解と予防の促進、認知症支援体制の環境整備を更に進めるべきではないか。

その他の質問事項

- 中学校の部活動について
- 御崎地区、坂越地区の観光地としての魅力向上と安全対策について 外

答 令和3年10月に設立した一般社団法人あこう魅力発信基地と市の共同により、令和4年3月に策定した赤穂市観光・移住定住戦略において、「資源の磨き上げ」の取組みとして「観光道路等の眺望改善」を位置付けているところである。観光道路については、その大半が県道坂越御崎加里屋線であることから、観光道路の植栽管理については県とも連携を図ることとし、今後の方策について調査研究を行っていく。



御崎観光道路



答 長引く新型コロナウイルス感染症の影響により物価高騰が誘発され、それに伴い食材費の値上がりが見込まれるところであるが、今定例会において、値上がり分に対する補助として学校給食費補助金の追加を提案したものである。給食の無償化に対する検討については、対象者の拡大や全面的な実施に向け、子育てに係る経済的負担の軽減施策の枠組みにおいて、引き続き庁内で検討を図っていく。



答 認知症サポーター養成講座については、コロナ禍による減少傾向の中、今後は自治会や教育機関等に加え、住民主体の通いの場で開催し、認知症サポーターの拡大を図る。認証症カフェについては、市民向け講座での啓発や立ち上げ相談の実施のほか、カフェに関する登録の推進活動や運営支援に係る個別相談を行っている。高齢者見守りネットについては、登録事業者に配布するステッカーの作成を検討するほか、協定事業者数を増やすため、ホームページ等での周知をはじめ、高齢者関連事業所に直接働きかけたい。



赤穂市民病院の現状について

井田 佐登司 議員



問 赤穂市民病院は、地域がん診療連携拠点病院として、放射線治療機器ライナックで治療を行っている。ライナックは令和7年に更新を中止する予定であるが、現在のライナックの稼働状況について伺う。また、入院患者、外来患者の方々の赤穂市民病院に対する評価についても伺う。

その他の質問事項

- 公共交通の今後の在り方について
- あこぎ魅力発信基地（赤穂版DMO）について

答 放射線治療機器ライナックの稼働状況については、令和2年度で1,809件、令和3年度で1,801件の実績となっている。また患者の病院に対する評価を知るための手段として、市民病院では従前から患者の意見を伺うための「患者様の声BOX」の設置をはじめ、入院患者を対象とした「入院アンケート」を行っているほか、外来患者を対象とした「接遇アンケート」を実施している。今後も患者の声に対して真摯に向き合い、信頼され選ばれる病院になるよう努力していく。



放射線治療機器（ライナック）



「市民の夕べ」の継続、代替イベントは

瓢 敏雄 議員



問 夏の風物詩として定着し、50回続いた「市民の夕べ」が終了した。終了が決定してから、継続あるいは再開を求める声を数多く耳にする。加古川市は昨年、花火大会の代替に河川敷でイベントを実施し、大勢の市民が参加した。市民が集い、連帯を深める場を提供することは、市の重要な施策ではないか。

その他の質問事項

- 「赤穂ふるさとづくり寄付金」について
- 給食無償化について

答 市民の夕べについては、主催者である赤穂市まちづくり振興協会において、多くの課題があることから令和3年度の第50回をもって終了することと判断されたものであり、改めて協会に対し継続を求める考えはない。また本市においては、市民の夕べ以外にも多くのイベントが実施されており、代替のイベントについては今のところ特に考えていないが、地域団体等が実施を希望される場合は、相談に乗りたい。



赤穂市役所全体のデジタル化について

家入 時治 議員



問 教育現場のGIGAスクール構想、庁内のデジタル化、議会や地域とのデジタル連携など幅広く展開する必要があるが、デジタル化の計画書はあるのか、考え方と進捗について伺う。また、市のデジタル化の計画としては、議会とのデジタル化、それによるペーパーレス化をどのように考えているのか伺う。

その他の質問事項

赤穂市民病院の信頼性を取り戻すために

答 令和3年度に庁内関係課長で構成する特定事業推進班を設置し、国が推し進めるデジタル化施策を着実に遂行するためのロードマップを作成している。また、行政内部事務のデジタル化として、キャッシュレス決済の導入やオンライン会議への対応などを図っている。さらに、係長以下の職員に議案書等をPDF化し電子データでの配布を行うなど、ペーパーレス化を図っている。今後、新たな技術の導入の検討や先進事例の情報収集等を行いながら、デジタル技術を活用した行政のデジタル化の取組みを推進する。なお、電子データ化した議案資料の議会への提供は可能である。



市役所



6月(第2回)定例会提出議案に対する議員別賛否一覧表

賛成：○ 反対：× ※議員は議席順

議案等番号	件名	議決結果	前田尚志	中谷行夫	井田佐登司	南條千鶴子	荒木友貴	安田哲	深町直也	西川浩司	山野崇	土遠孝昌	榊悠太	家入時治	前川弘文	田淵和彦	奥藤隆裕	瓢敏雄	釣昭彦	山田昌弘	
報第10号 専第3号 専第4号 専第5号	専決処分の報告について 令和3年度赤穂市一般会計補正予算 令和3年度赤穂市職員退職手当管理特別会計補正予算 令和4年度赤穂市一般会計補正予算	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第35号議案	令和4年度赤穂市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第36号議案	令和4年度赤穂市病院事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第37号議案	令和4年度赤穂市水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第38号議案	赤穂市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第39号議案	赤穂市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第40号議案	赤穂市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第41号議案	看護学生等修学資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第42号議案	赤穂西中学校(B棟・D棟)大規模改造工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第43号議案	水槽付消防ポンプ自動車取得契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願審議結果																					
第1号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の請願について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書審議結果																					
第1号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長のため、表決には加わりません。

6月(第2回)定例会報告案件

報告番号	件名
報第11号	令和3年度赤穂市一般会計予算の繰越しについて
報第12号	令和3年度赤穂市水道事業会計予算の繰越しについて
報第13号	令和3年度赤穂市下水道事業会計予算の繰越しについて

●●●●● 常任委員会等審査から(主な質疑) ●●●●●

● 民生生活

6月14日に開催し、付託された第36号議案など3議案を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<赤穂市病院事業会計補正予算について>

- 問 薬品費及び診療材料費に係る補正予算増の要因及びジェネリック医薬品との関係性について
- 答 増加要因は入院と外来に係る病院医業収益の増加に伴い、診療に要する薬品費と診療材料費も連動して増加するためであり、薬品費全体が増加するためジェネリック医薬品と直接関係するものではない。

<赤穂市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について>

- 問 市民病院の診療所で初診を受けた場合の選定療養費の適用について及び当該診療所から赤穂市民病院を紹介した場合の取扱いについて
- 答 当該診療所での初診の場合には選定療養費は発生せず、当該診療所から市民病院へ紹介する場合は同系列の医療機関であるため紹介料は発生しない。

● 建設水道

6月15日に開催し、付託された第35号議案関係部分など2議案を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<あこう地域応援プレミアム付商品券事業について>

- 問 使用期間が限定されるプレミアム付商品券ではなく、キャッシュレス機能を備えた使いやすく継続的に利用可能な方法の検討について
- 答 電子マネーで使えるポイント制の商品券等について検討したが、携帯電話を所有していない方や使用に不慣れな方への問題もあり、紙ベースの商品券で実施することとした。

<赤穂市水道事業会計補正予算について>

- 問 水道料金2期分を減免するところを、水道料金と下水道使用料を合わせて1期分で減免することの検討について
- 答 下水道使用料は水道料金と比べて2.5倍程度高額であるため、財源の面から下水道使用料は対象とせず、水をよく使用する夏季4か月間を設定することで、市民や事業所等の負担軽減を図る。



● 総務文教

6月16日に開催し、付託された第35号議案関係部分など3議案を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について>

- 問 補正予算額2億7,390万6,000円の積算根拠について
- 答 国からの通知によると、計算式として基本単価に人口、事業所数、高齢者人口及び年少人口比率等乗じて算出する仕組みになっている。

<心のケア推進事業について>

- 問 事業内容の詳細について
- 答 小学校における不登校児童への対応として実施するものであり、県事業の「ひようごがんばり学びタイム」の一環となる。

● 請願の審査 (総務文教)

請願1件について慎重審査した結果、全会一致で採択すべきものとなりました。

<少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の請願について>

- 請願項目にもあるように30人以下学級とすることは必要である。
- 義務教育費の国庫負担を現行の3分の1から2分の1へ引き上げることは必要である。

常任委員会行政視察報告

(ホームページにも詳しく掲載しています)

民生生活委員会 (7月13日～15日)

京都府京都市 高齢者保健福祉施策の総合的な推進と介護保険事業の円滑な運営を目的に「京都市民長寿すこやかプラン」を策定している。認知症ガイドブックは、本人・家族の視点も取り入れ、あらゆる場面で有効活用出来る資料とし、認知症初期集中支援チームは初期段階での対応の強化に繋がっている。9月21日はアルツハイマーの日であり、9月は特に普及啓発に取り組んでいる。

滋賀県高島市 平成15年に稼働開始したごみ処理施設は流動床ガス化溶融方式という特殊構造で、高度な知識・技術を要する事、老朽化と頻繁な故障等により、現在休止中で平成30年より他市へ外部委託している。新ごみ処理施設整備に向け様々な困難な課題に対処し、現時点では用地選定、令和11年度中の稼働を目標に施設整備基本計画を進めている。

石川県小松市 平成30年7月、エコロジーパークこまつは廃棄物の処理に加えエネルギー供給とスマートシティの推進拠点としてスタート。クリーンセンター、リサイクルセンター、最終処分場の3つの施設で構成され、地球環境への負荷軽減を図るとともに循環型社会の形成、脱炭素社会実現に向け取り組んでいる。



高島市議会にて

建設水道委員会 (7月13日～15日)

愛知県豊田市 水道管破損による断水を防ぐため、AI水道管劣化予測診断ツールと衛星画像解析により、具体的な管路更新の優先順位を決定している。また、職員の暗黙知を地図情報システム上にデータとして取り込んだことで、職員が連綿と紡ぎ続けてきた知見の次世代への継承が可能となっている。

岐阜県郡上市 郡上市DMOは、住民も旅行者も、幸せを感じる町をめざし、旅行消費額、延べ宿泊者数、満足度、リピーター率を数値目標(重要成長評価指数)として、通年・滞在・体験型観光の実現に取り組んでいる。

愛知県西尾市 インフラ整備において、橋梁・横断歩道橋・トンネル長寿命化修繕計画、舗装の個別施設計画に基づき、健全度、第三者被害の有無、緊急輸送路、津波避難経路等による優先度を判定。水道施設は主要施設の耐震補強工事、重要管路の耐震管への更新、下水道はストックマネジメント計画等により、工事計画を立案し、限られた財源と管理体制の下で、効果的かつ効果的な維持管理が行われている。



郡上市産業プラザにて

※総務文教委員会は7月4日～6日に新潟県内3市への行政視察を予定していたが、台風4号の影響により中止・延期とした。

議会活動状況 (令和4年5月～7月)

5月／

- 6日・西播磨市町議長会総会
- 10日・民生生活委員会協議会
- 16日・第78回全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会 (東京都)
- 25日・第98回全国市議会議長会定期総会 (東京都)
- 27日・※「赤穂市民の会」理事会

6月／

- 3日・議会運営委員会
・会派代表者会
- 10日・本会議[第2回定例会開会]
(報告・議案説明等)
- 13日・本会議 (議案質疑等)
- 14日・民生生活委員会
・民生生活委員会協議会
- 15日・建設水道委員会
・建設水道委員会協議会
- 16日・総務文教委員会
・総務文教委員会協議会
・会派代表者会
・議会運営委員会
- 23日・本会議 (一般質問7名)
- 24日・本会議 (一般質問4名・議案表決等)
[第2回定例会閉会]
・議会報編集委員会
- 29日・市民病院経営改善調査特別委員会
- 30日・全国市議会議長会地方財政委員会 (東京都)

7月／

- 13日・民生生活委員会行政視察
(京都市、高島市、小松市～15日)
・建設水道委員会行政視察
(豊田市、郡上市、西尾市～15日)
- 20日・兵庫県市議会議長会総会 (南あわじ市)
- 21日・議会報編集委員会
- 22日・相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会
- 26日・茨城県石岡市議会行政視察 (来庁)
・民生生活委員会協議会
- 27日・朝来市議会行政視察 (来庁)
- 29日・議会報編集委員会

※「赤穂市民の会」＝産業廃棄物最終処分場建設反対
赤穂市民の会

☆9月定例会・常任委員会の日程(案)☆

日	月	火	水	木	金	土
8/28	8/29	8/30	8/31	9/1	9/2	9/3
					本会議 (1日目)	
9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10
	本会議 (2日目)		民生 生活 委員会	建設 水道 委員会	総務 文教 委員会	
9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16	9/17
9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	9/23	9/24
	(敬老の日)	本会議 (3日目) 一般質問	本会議 (4日目) 一般質問	本会議 (予備日)	(秋分の日)	

※いずれも午前9時30分から開催予定です。
※委員会は原則公開で、開会後の委員会室の出入りは休憩中を原則としています。

令和4年5月10日号の訂正について

P10「4月(第2回)臨時会第34号議案に対する議員別賛否一覧表」内「赤穂市監査委員の選任について」、榊 悠太議員は自己に関する議案のため議決結果は除斥「/」にすべきところ、賛成「○」と記載していたため、訂正しお詫びいたします。
※市HPには正しい表記で掲載しています。

編集後記

- ※残暑お見舞い申し上げます。
毎日暑い日が続きますが、日頃から体調面に気を配り、熱中症にならないように心掛けましょう。市民の皆様には、常日頃より新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力いただき、心より感謝と敬意を表します。引き続き、感染防止対策にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- ※今月号は6月(第2回)定例会の内容を中心にお知らせしました。

※表紙写真は、赤穂トラストホープ球場で行われた^{ゆきほら}梶原高校(高知県)対赤穂高校の親善試合です。